

自動車用バッテリー・リサイクルシステムの
運用状況について

平成28年9月30日

一般社団法人鉛蓄電池再資源化協会

Lead Acid Storage Battery Recycle Association (SBRA)

1. システムの概要

(1) 対象範囲

○鉛蓄電池再資源化協会（以下、SBRA※¹という）におけるリサイクルシステムの対象となる電池は、自動車（二輪車、農業機械、建設機械等を含む）のエンジン始動用鉛蓄電池が使用済となったもの（以下、使用済バッテリーという）であって、排出事業者から廃棄物としてSBRAに処理を委託されたもの。

※¹ SBRA：Lead Acid Storage Battery Recycle Associationの略称

(2) 経緯

○近年の輸入電池の増加等を背景として、国内電池メーカー・輸入事業者が共同で、使用済バッテリーの回収・再資源化を行うためのセーフティネットとしてシステムを構築。

○SBRAが廃棄物処理法の広域認定（産廃及び一廃）を取得。管理票情報システムによる処理の一括管理を実施。

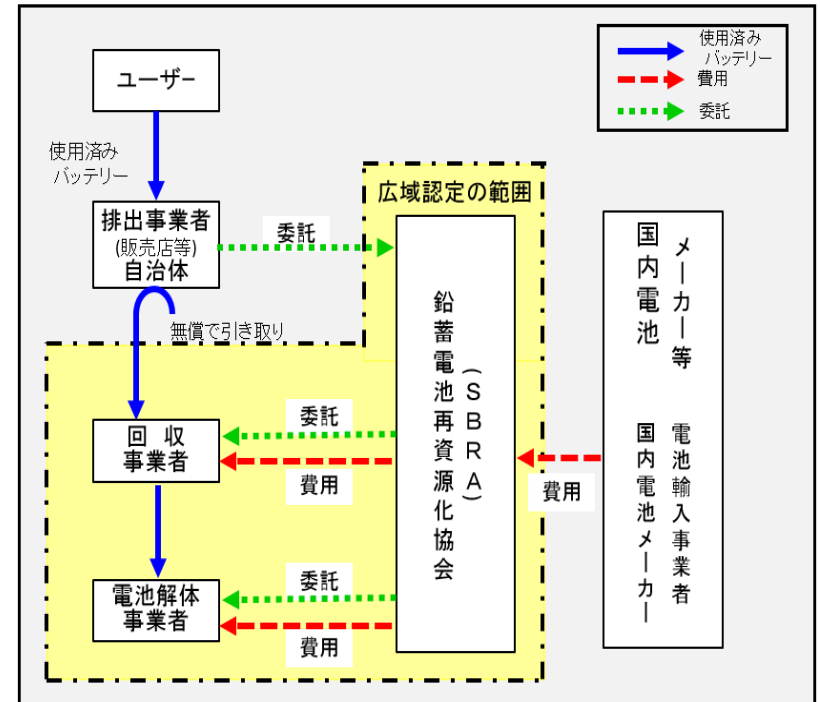
- ・平成24年4月10日 広域認定取得
- ・同年4月11日 限定運用開始
- ・同年7月21日 本格運用開始

(3) 運用体制（平成28年3月末現在）

- ・参加メーカー等： 6社※²
- ・排出事業者： 8,285件
- ・回収事業者： 96社
- ・解体事業者： 14社

※² 国内電池メーカー： 4社

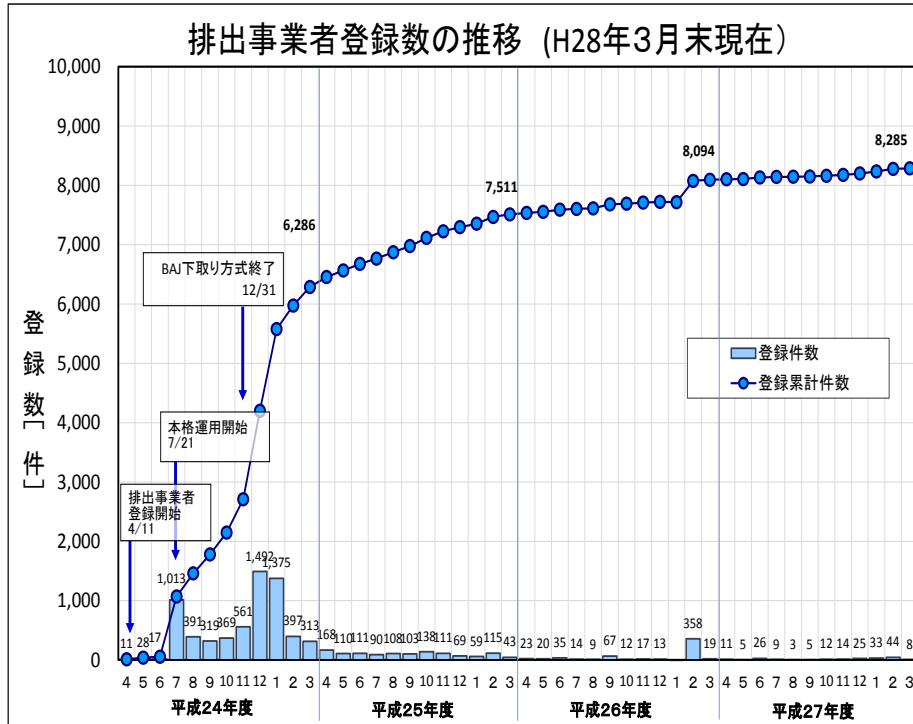
電池輸入事業者： 2社



2. 排出事業者の登録状況

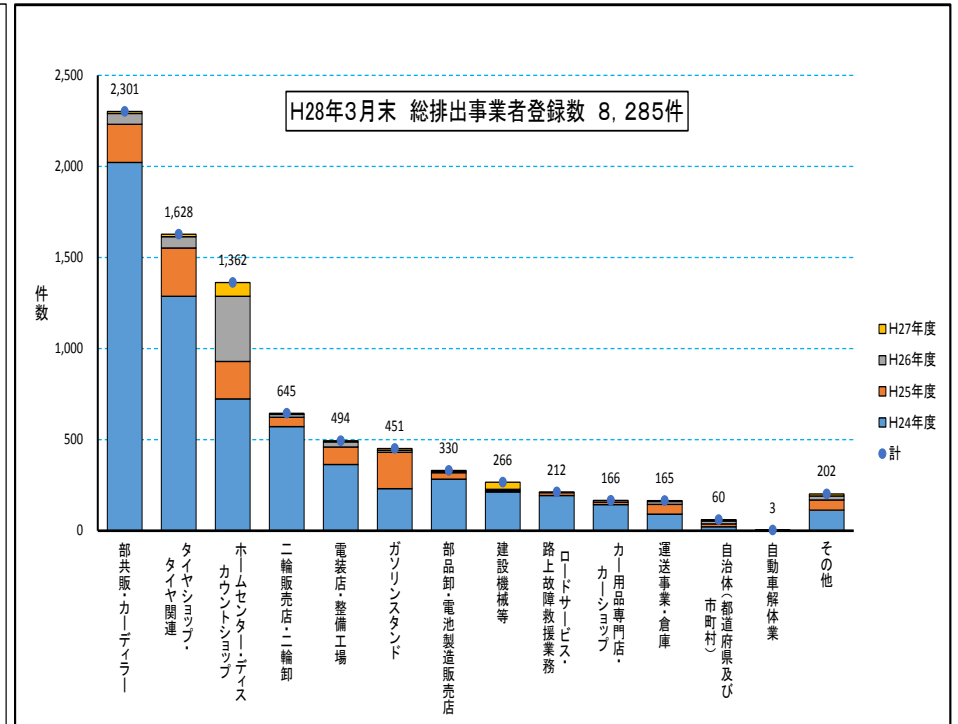
(1) 排出事業者の登録数

- 排出事業者登録数は、H27年度末で8,285件。
昨年度から約150件増加。



(2) 業種別の登録数

- 業種別に見ると、部品共販・カーディーラー、タイヤショップ及びホームセンター等が上位。



3. 運用実績(前年度との比較)

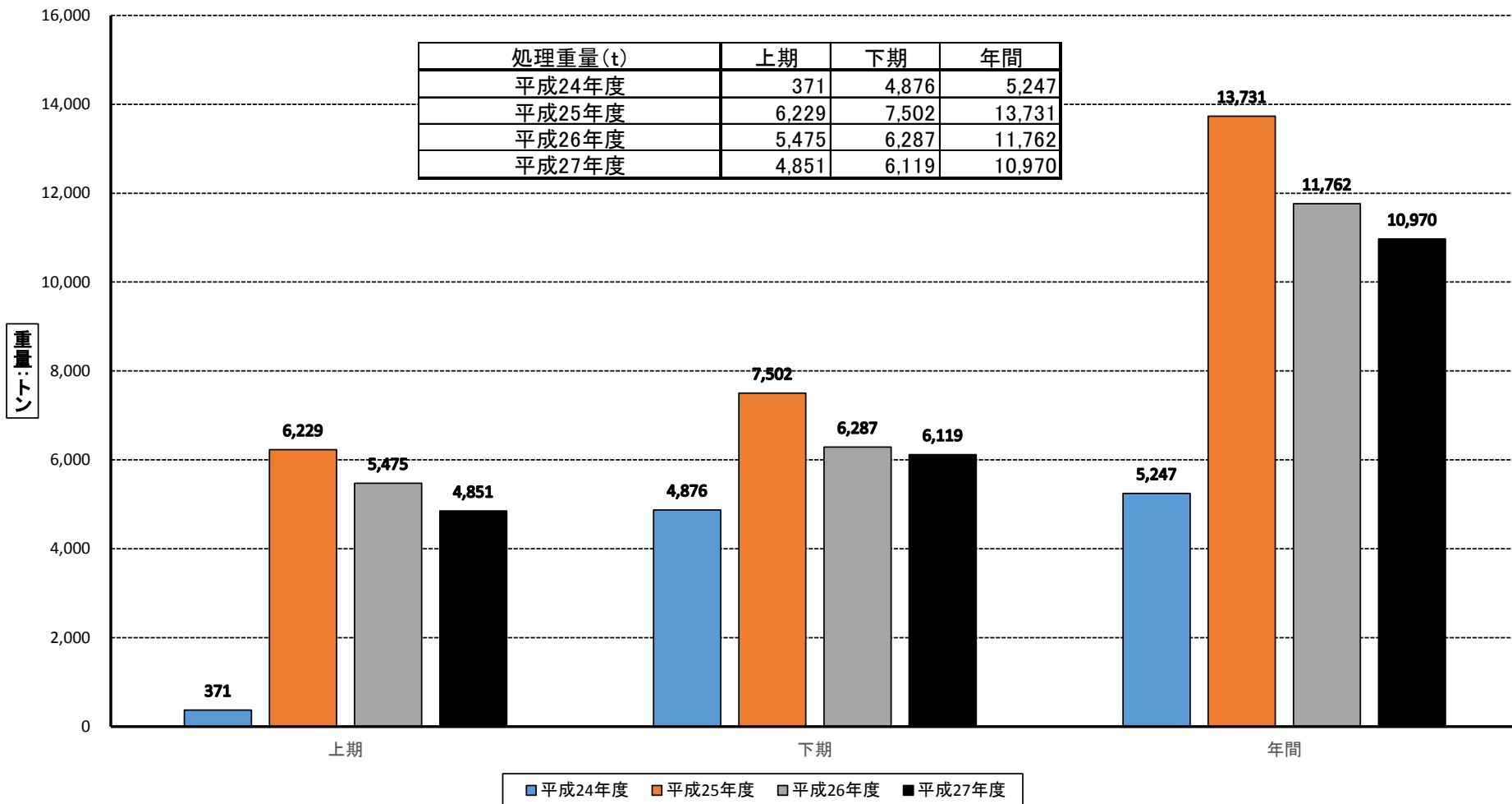
【SBRAにおける使用済バッテリーの処理実績】

項 目		平成26年度	平成27年度
① 排出事業者数	[件]	8,094	8,285
② 処理件数	[件]	32,203	30,911
③ 処理量	[電池 t]	11,762	10,970
④ 処理費用	[百万円]	492.7	458.2

4. 電池処理重量推移 半期/年間の累計

処理重量実績

処理重量(t)	上期	下期	年間
平成24年度	371	4,876	5,247
平成25年度	6,229	7,502	13,731
平成26年度	5,475	6,287	11,762
平成27年度	4,851	6,119	10,970



5. 昨年度の新構築した回収ルート (離島への対応)

5.1 新回収ルート運用開始

- ・ 平成27年度8月広域認定変更承認、即時運用開始
(委託回収事業者2社追加)
- ・ 対象
宮古島、石垣島、西表島

5.2 回収実績

- ・ 平成27年度下期より実績発生
- ・ 実績 石垣島にて約100個、宮古島にて約200個
(平成28年度にも継続実績発生中)

6. 今後の取組み

○自動車用鉛蓄電池リサイクルのセーフティネットとして、安定して継続活動ができるよう維持管理を行う。

（廃棄物処理法の広域認定に基づく適正処理の継続実施）

○システムの適正な維持管理、及び継続的な改善を行う。

（協会の管理情報システムの維持/改善）

○バッテリーの排出事業者（電装店・卸業者・車両整備工場・運送事業者等）への更なる普及啓発の推進。

以上